

# 令和4年度 働き方改革ボトムアップ研修会

令和4年11月30日

赤磐市では教育の質の向上と教職員の心身の健康維持のため、働き方改革を推進しております。その一環として研修会を開催しました。



## 講師

株式会社先生の幸せ研究所  
代表取締役社長 澤田真由美 氏

東京都と大阪府の小学校教員として約10年間勤務。教師として悩みぬいた自身の経験から、技術も心も豊かな幸せな教育者を増やしたいと会社を設立されています。

## <研修会でのキーワード>

①働き方改革の目的 ②クリティカルシンキングとバイアス ③時間予算ワークショップ ④当事者

## <研修会の内容と流れ>

**働き方改革の目的**は「**教育の質の向上**」と「**教職員の生活の質の向上**」です。

その2点を成立させるためには、教育に力を注ぐことと効率化することを考えなければなりません。

しかし、教育に対する思いは教師によって異なり、「～あるべき」という**バイアス(思考の偏り)**がかかるため、対立したり、話が平行線のまま進んだりし、改革が進みにくくなります。そんな時に必要な思考の仕方が**クリティカルシンキング**です。

クリティカルシンキングとは自分のバイアスを客観的に振り返り自分の「～あるべき」がいつも正しいわけではないこと、他者の抱く価値観に寄り添ったり、他者がその価値観に至った背景や考え方を理解しようとしたりすることで相互に納得できる着地点をさぐるといった思考の仕方です。

「～であるべき」「～なければならない」を「それって本当?」「いつからそうなの?」といったクリティカルシンキングを用いて「当たり前」を見直すことで、子どもと向き合う時間や自分のための時間を生み出す案を考え出す演習「**時間予算ワークショップ**」を行いました。

最後に**当事者**としてありたい姿、取り組みたいことを参加者で共有しました。



## <演習の様子①>「時間予算ワークショップ」

学校の当たり前、例えば「掃除は毎日必要か?」「宿題は必要か?」「授業の間の休み時間は10分必要か?」「行事の練習にかかる時間を短縮することも必要か?」「ICTを効率よく活用する手立てはないか」・・・など具体的な話ができました。**本当に大切なのは目的です。子どものどんな成長を願って、また、どんな力をつけるためにしているのか?当たり前に行っていることと、目的とを重ねて考えることで、より深い協議を行うことができました。**



## <演習の様子②>

「**当事者**」として明日から自分にできることを参加者で共感しあいながら伝え合い、今日の研修のまとめを行いました。

先生方が前のめりで意見を伝え合い、働き方改革に対する意識の高まりを感じ取れる熱い研修でした。

赤磐市の大切な子どもたちと先生方、みんながいきいきと活動し、楽しく笑顔で力を発揮できる学校を目指し、働き方改革の取組を推進します。